

地球を元気に！ アースウィークくまもと2009

4月22日を、地球のために行動する日として、アメリカで始まった「アースデー」。熊本ではこの日を中心に一週間の活動期間を設け、「アースウィーク」として実施（事務局／熊本YMCA・環境ネットワークくまもと）してきました。20回目を迎えた今年は4月18日（土）～26日（日）に開催。メイン会場の辛島公園で行われたオープニングイベントで幕を開けました。

オープニングセレモニーでは、環境ネットワークくまもとの原育美さんが「近年、若い人たちの主体的な参加があり、心強く感じています。未来のために、今日からのち輝く地球を守り、手渡していく仲間として一緒に行動しましょう」と呼びかけました。

続いて、YMCA水前寺幼稚園の園児たちが登場。大きな声と元気な振り付けで歌を披露し、大きな拍手が寄せられました。会場にはリサイクル食器を使ったカレーやフェアトレードコーヒーなど、地球にも人にも優しい食パザールの出店もあり、多くの人が様々な形で地球環境について考える一日となったようです。



ユースかんくまによるワークショップでは、不要になったカレンダーや古新聞を使った「エコバッグ作り」と使用済みのクレヨンやキャンドルを再利用した「エコキャンドル作り」に挑戦。参加した子どもたちは「バッグも上手に作れたし、歌も歌えて楽しかった」と感想を話してくれました。

また、サンロード新市街では環境問題を啓発するパネル展が、各YMCAでも様々な賛同イベントが行われました。

さらに、アースデー当日の4月22日（水）には、恒例のノーマイカーデーを実施。戸井の外公園から市役所までの道のりを、熊本県副知事・熊本市長らとともに、約300名の市民がCO₂削減を訴えながらパレードしました。熊本YMCAでも、この日は27名の職員がノーマイカー通勤にチャレンジ。1日の取り組みで削減できたCO₂は、なんと109kgのCO₂。1ℓの牛乳パックに換算して約54,500本分（1kg約500ℓ）もの二酸化炭素削減につながりました。

ロードクリーンボランティア



約60名もの多くのボランティアに参加していただきました。私たちの住む街をこれからもきれいにしていきたいと思います。

江津湖たんけん隊



約90名が参加し、江津湖の湖岸を清掃。カヌー体験や生き物調査など自然体験イベントにも取り組み、充実した時間を過ごしました。

クリーンアップ新八代駅



毎年ビルが建ち変わっていく新八代駅を、今年もゴミポイントを知り尽くした八代ワイズメンズクラブの8名で清掃活動を行いました。

上通クリーン作戦



上通アーケードと周辺の通り一帯をボランティア、スタッフ約30名で清掃。アーケードに吐き捨てられたガムを取る小技もマスターしました。

エコでニコニコ



約90名の参加があり、使用済みキャンドルとクレヨンでオリジナルキャンドル作り、カレンダーや古新聞でエコバッグ作りを楽しみました。

私たちの街クリーン作戦



学院生と生涯教育受講生、さらに今年は一般からの参加者もあり、東部地域における多文化共生プログラムとして開催できました。

森林探検隊



野外活動クラブのメンバーとYMCA学院高等学校の生徒がクヌギの苗木を植樹。カブトムシやクワガタの止まり木として成長が楽しみです。

自分の街からむさしから



清掃業者セイブクリーンによるセミナーでは「ゴミを資源にするか、ゴミで終わらせるかは人間の心次第」という言葉が心に残りました。

Event REPORT

HIP・HOPダンス発表

開催日時／2009年3月8日（日）11時～14時
開催場所／ゆめタウンはません 2F 特設ステージ



みなみYMCAとむさしYMCAでHIPホップダンスを習っている幼児から高校生が、家族連れでにぎわうショッピングモールでダンス発表しました。計7クラスの83名が一堂に会し、大勢の観客の前で緊張をはねのけてパフォーマンスを披露。大きな拍手喝さいを浴びました。発表を終えて、子どもたちは「まわり大きく成長することができました。次は地域YMCA祭で発表予定。さらなる期待が高まります。」

心のもったランチを高齢者に

開催日／2009年3月17日（火）・18日（水）
開催場所／熊本中央YMCA・正立寺



一人暮らしの高齢者へ食事を届ける「ふれあいランチ」。毎年春の「ふれあいのつどい」では、一新校区老人クラブ長寿会や福田病院の栄養士など多くのボランティアと協力し、熊本YMCAがお弁当づくりを担当しています。YMCA学院社会福祉学科1年生も調理に参加し、当日は160食のお弁当が届けられました。YMCA介護予防プログラム「こつこつゆうゆう」の実演もあり、あたたかいひと時を楽しんでいただきました。